

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶらぼーたくほく (児発・放デイ共通)			
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 22日 ~ 令和6年 12月 6日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発: 13 放デイ: 15 計28	(回答者数)	児発: 3 放デイ: 7 計10
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 22日 ~ 令和6年 12月 6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (管理職・役員で現場職含まず)	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 16日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢の子どもたちが交わり、他事業所との交流がある</li> <li>・子どもがのびのびと自分らしく、自由に遊びを選択できる環境にあること、自己肯定感を高めていけるような環境づくり</li> <li>・好きなことをして過ごせる広いスペースがある</li> <li>・毎週言語聴覚士による言葉の教室を行っている</li> <li>・未就学児のニーズが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まんべんなく、関わりを持つ。名前を覚える。</li> <li>・自己決定、自己選択ができるような子どもの意志を大切にしたかかわり方</li> <li>・あえて施設内のルールを少なくしていること→</li> <li>・言語聴覚士が個別療育を行い、保護者との面談の機会も設けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や報告することで保護者様の安心感を得ている</li> <li>・見学や体験を行なっている</li> </ul> <p>→・その中で困り事が出来た時はスタッフ間で情報共有し改善に務める</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊び・買い物支援など活動があり体験ができる →クッキング、制作、TVゲーム、外遊び、外出など</li> <li>・サークル遊びを取り入れ玩具を使って体を動かすことを楽しみながらバランス感覚、体力の向上、コミュニケーションを養う事ができる</li> <li>・子どもとスタッフの距離感が適切に取れている事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がやりたい事や遊びたい事に誘っている。提案を実行していただけている</li> <li>・子どもの年齢に合わせたサークルのコース作り、また子どもが主体となってコースを作れるような環境設定をしている</li> <li>・子どもが良くないことをした時、理不尽に「ダメ」「やめて」と言わず優しく寄り添い、また理解のある子どもには何故してはいけないのかなど優しく注意を促す点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同運動会では未就学児の種目にサークルを取り入れることが出来た</li> <li>・子どものそれぞれのペースで交流を増やしていく</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、終礼で情報共有ができる。</li> <li>・質問がしやすい環境</li> <li>・保護者様との緊密な情報共有</li> <li>・行事や戸外活動に参加し様々な体験により自己肯定感が高められる</li> <li>・療育内容が子どもの要望や保護者のニーズに沿って行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの意思を尊重している</li> <li>・様々な体験を通じて社会性を養う事ができるような起案作り</li> <li>・季節ごとに楽しめる行事を取り入れている（ぶどう狩り、魚釣り、バッティングセンター、カラオケ・・・）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キムタク先生のお話などもっと勉強会が聞きたいです。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎え時に職員が分散されるので戸外活動時間が限られる事がある</li> <li>・運動スペースが広く子どもがスタッフの見守りの目をすり抜けて、見えないところでケガや揉め事が起きてしまう事がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季は特に天候や道路状況により送迎に時間がかかる</li> <li>・他児とのトラブルを回避できるような取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣での活動や散歩など身近で楽しめる活動も増やして運動不足、体力低下を防ぐ</li> <li>・多動が目立つ子どもへの対応、スタッフ配置など</li> </ul>
2	・おもちゃが多い分、子どもの切り替えが難しい部分がある		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用頻度の少ない玩具を減らし、子どもが自ら片付けやすい環境設定（写真等で示すなど工夫）</li> </ul>
3	・スタッフ人数が配置基準に比べて多めなので、手厚い分自己選択自己決定への余計なお世話にならないよう気を付ける		

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日 令和7年 1月 31日						
		利用児童数 13名 回収数 3名						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				広々とした空間で走り回れるので十分だと思います	広さは確保しているが、安全な遊具や玩具などを整理整頓し怪我をしないよう心がけていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1		1	職員が抜けてから適切な人員なのかはわからないですが、事故が起きないよう注意できる環境であればいいです。	ご心配をおかけした時期があったが、今まで以上に安全安心の療育環境、職員の質の向上に努めている。保護者様との緊密な連携体制を整えていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1	様々な場所へ連れて行って頂いているので、機会は多いと思います。	インクルージョン推進のなかで、近隣の公園や市内の有料施設等に行ったり、他事業所との交流をするなど、今後も様々な体験を自然に経験出来るようにしていく。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	1		1	特に問題はありませんでしたが説明等が無かった気がします（記憶違いならすみません）	初回ご利用時は約2週間のモニタリング等を行い支援計画を作成していくこともあります。作成時には支援計画等書類の控えをお渡ししているが、きちんとご納得頂けるよう丁寧な対応を今後も行っていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1		2		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	3					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2			1	何か起った際はすぐに面談等対応していただいております	ご家庭での関わりのご相談、子どもの支援、成長についてのご相談がある際には保護者様および関係機関と連携し支援会議等を今後も実施していく
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3			通信、いつも楽しみに見ております	毎月発行する写真付きおたより、紙面とともにLINE等でも発行し、保護者様および現代ニーズに沿った発信を今後も実施していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。		1	2	マニュアルはいただいておりますが実際に訓練等を実施しているかはわかりません。	年一回程度避難訓練（火災・地震）を実施しているが、ご利用日でないお子様について参加出来ていない事がある。ご利用日でないお子様についても事前に実施日を連絡するなど誤解、疑惑のないようにしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		1	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	1			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	1		・まだ通い始めたばかりでわからない部分も多いですが、子どもは楽しそうに通っていて安心しています。今後ともよろしくお願ひいたします。 ・年齢的に行き済りが出てきていますが、行った際には楽し気にしていると思います。	・ご家庭でのお子様の対応や困り感について相談アドバイス等を行なったり、送迎時玄関先で緊密な対応を実施している。 ・送迎時に今日の活動内容を伝えてみたり興味のもてるような会話をして気持ちを切り替えられるよう今後も対応していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3			・スタッフの皆様の協力があるおかげで子どもの発達が少しずつ良い方向に進んでいます。これからも宜しくお願ひします！感謝！！ ・満足です。色々気にかけて頂きありがとうございます。	・保護者様のニーズ、ご期待の応えられるよう、また療育方針等を説明し保護者様と双方の連絡を今後も心掛けていく。 ・保護者様からの感謝の気持ちを糧に、支援者は気持ちに奢る事なく支援に従事していく。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぶらぼーたくほく (放課後等デイサービス)
------	-----------------------

公表日 令和7年年 1月 31日

利用児童数 15名

回収数 7名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	1		2		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			3		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			4		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6		1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				
	29 事業所の支援に満足していますか。	7				

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日		令和7年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日		令和7年 1月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		

供 給	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	1		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
機 構 の 運 営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			